

# 文部大臣祝辭

本日東京女子高等師範學校が開校五十年記念の式典を舉行するに當り畏くも

皇后陛下行啓あらせられ優渥なる令旨を賜ふ　これ獨り本校無上の光榮たるのみならず教育に従事する者の齊しく感激措く能はざる所なり

抑も本校は女子教育の淵源にして風教化育の依つて生ずる所なり其任や重且大なりと謂ふへし　開校以來常に皇室の優眷を蒙り屢尊貴の臺臨を辱うするも亦これが爲なり　而して歴代の當事者皆其の人を得一致協力克く職務に踴勉せしを以て創立當時の微々たりし本校は年と共に隆昌に赴き今や附屬の高等女學校小學校幼稚園其の他保育實習科臨時教員養成所等の生徒兒童幼兒を合せて二千有餘人の多きを算ふるに至れり　校舍は曩に大震災災の厄を被り復興の業未だ成らずと雖も時勢の進運に應じて常に其の内容を充實改善し本邦女子教育の振興に寄與する所鮮少なからず　明治八年開校式の際

昭憲皇太后の自今此の校の旺盛に赴き女教の美果の全國に蕃結するを觀んと望ませ給ひし令旨に副ひ

奉るに庶幾らんか

四

然れども當今の世態を察するに本校の責任更に一層重きを加ふるものあり 本校職員たるもの夙夜に省察を加へて生徒教養の途に努力し宜しく華を去りて實に就き輕佻浮薄を斥けて質實醇厚に歸し貞淑溫雅節操を尙び自制を重んずる我國固有の婦徳を宣揚し以て人の師表母儀たるべきの修養を深からしむべし 此れ實に本日賜はりたる令旨に答へ奉る所以の道なりと信す

茲に本校の開校五十年を慶賀すると同時に深く其の將來に矚望する所あり 聊か蕪辭を陳じて祝辭となす

大正十四年十一月二十九日

文部大臣 岡田良平